

平成29年8月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート 平成29年8月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

八戸三社大祭が始まりました。

今年の八戸三社大祭は、ユネスコ（国連教育科学文化機関）の無形文化遺産に登録されて初めての開催です。

また、市制施行88周年の節目の年での開催でもあり、節目を祝う豪華絢爛な山車が、八戸の夏を彩っています。

今年は、通常の日程を一日延長し、8月5日（土）に「ユネスコ無形文化遺産登録記念祭」も開催します。

そして、8月20日（日）には、八戸の夏の夜空を彩る「第37回八戸花火大会」が八戸館鼻漁港で開催されます。

市制施行88周年や八戸三社大祭の無形文化遺産登録を記念した花火を含め、約5千発の多彩な花火が打ち上げられる予定です。

みなさま、ぜひ夏休みに八戸へお越しください。

■八戸三社大祭のおしらせ（市ホームページ）

<https://www.city.hachinohe.aomori.jp/kanko/festival/sansya>

■第37回八戸花火大会のおしらせ（オフィシャルサイト）

<http://www.8hanabi.jp/>

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2 全国都市会館 5 階

電話 (03) 3261-8973 /FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 8月号 レポート

平成29年7月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	内閣府の出先拠点 実証試験終了し閉所
(2)	是川遺跡出土品公開施設が来館者数60万人を突破
(3)	はっち来館者 600万人突破
(4)	南郷歴史民俗資料館で特別展「しあわせのリカちゃん展」開催
(5)	八戸市 eコマース人材育成講座 初開講
(6)	「鯖サミット」八戸誘致を要望

【産業】

記事	概要
(7)	三八地域でスナップエンドウの生産増
(8)	八戸沖で調査捕鯨始まる 8月中旬まで30頭前後目標
(9)	みろく横丁で飲食アプリ運用開始 セットメニューを一定料金で
(10)	八戸のしみず食品 どちら焼き製造で国際認証取得

【地域】

記事	概要
(11)	新井田小児童が花火大会向けに募金箱作製
(12)	7月5日は「南郷の日」農園や飲食店でイベントやサービス
(13)	八戸線に新車両投入 年度内に運転開始へ
(14)	「はっち×南部菱刺し」イベント開催
(15)	村次郎の詩世界体感 種差海岸でウォーキングイベント開催
(16)	JAMSTECが出前授業「ちきゅう」に興味津々
(17)	光星学院がフィリピンの語学学校と協定へ
(18)	陸奥湊駅 毎年恒例の「イカ風鈴」お目見え
(19)	工大二高 成田光さん 難関の英検準1級に合格

【文化・スポーツ】

記事	概要
(20)	八戸学院大に女子ラグビー部創設 東北の大学で初
(21)	三八五交通 ヴァンラーレのラッピングタクシー制作
(22)	南郷サマージャズフェスティバル開催 ～軽快な音色にスイング～

【行政】

記事	概要
(1)	<p>内閣府の出先拠点 実証試験終了し閉所</p> <p>八戸市のユートリーにサテライトオフィス（出先拠点）を試験的に開設した内閣府は6月30日、約2週間の実証試験を終え、事務所を閉鎖した。期間中、八戸圏域の首長との意見交換や市町村への情報提供、インターネットを使った本庁とのウェブ会議などを展開した。今後、実証試験で得た知見を基に出先拠点の常設や長期間設置も含め、本格移転の可能性を検証する。</p>
(2)	<p>是川遺跡出土品公開施設が来館者数60万人を突破</p> <p>八戸市で1964年以降、是川遺跡の出土品を公開している施設の累計来館者数が7月1日、延べ60万人を突破した。市内では、1964年に開館した是川考古館をはじめ、市縄文学習館や是川縄文館を通じて、国内外から訪れる見学者に、是川遺跡の出土品を紹介してきた。60万人目となった青森市立筒井小4年の加賀谷良君は、国宝・合掌土偶のレプリカ作りを体験するために来館。記念品を手し、「社会科の授業で遺跡に興味を持った。合掌土偶の重さなど、いろんなことが分かったのでまた来たい」と笑顔を見せた。</p>
(3)	<p>はっち来館者 600万人突破</p> <p>八戸ポータルミュージアム「はっち」の来館者が7月18日、600万人を突破した。はっちは2011年2月に開館し、12年3月に来館者数100万人に到達。開館前の目標だった年間65万人を上回り、年間90万人台を維持している。節目の来館者となった同市諏訪の下野奏翔ちゃん(3)に、花束と来館者証明書、記念品が贈られた。この日、母親の千晶さんと共に訪れた奏翔ちゃんは、記念セレモニーでくす玉のひもを引っ張って笑顔を見せた。千晶さんは「こどもはっちをよく利用していて、木製のおもちゃで遊ぶことを楽しみにしている」と話していた。</p>
(4)	<p>南郷歴史民俗資料館で特別展「しあわせのリカちゃん展」開催</p> <p>八戸市南郷歴史民俗資料館で、特別展「しあわせのリカちゃん展」が開かれている。日本の四季を表現したリカちゃんのジオラマなど、約180点を展示。1967年に発売された初代から現在の4代目までの移り変わりも知ることができる。中でも、有名ドール作家が特別に製作した「八戸南郷 蛍リカちゃん」は、特に注目を集めている。入館料は一般200円、大学・高校生100円、小中学生50円（市内の小中学生は無料）。時間は午前9時～午後5時（入館は午後4時半まで）。毎週月曜は休館（第1月曜と祝日・振替休日は開館）。特別展は9月3日まで。</p>
(5)	<p>八戸市 eコマース人材育成講座 初開講</p> <p>八戸市は9月から、十三日町の八戸ニューポートで、インターネットショップ運営について学ぶ「eコマース（電子商取引）人材育成講座」を初めて開講する。講座は地場産品の販路拡大や起業、就業促進を目的として、9月から11月までで計6回を予定。ヤフーの認定講師によるネット販売スキルや、八学大の教授によるブランドマーケティングなど、基礎から店舗開設までの手順を学ぶ。八戸圏域連携中枢都市圏を形成する8市町村の18歳以上の事業者と個人が対象で、定員20人。</p>
(6)	<p>「鯖サミット」八戸誘致を要望</p> <p>サバの認知度向上などに取り組む「全日本さば連合会」（東京、小林崇亮会長）、八戸前沖さばブランド推進協議会など八戸市内外の水産関係者らが28日、市庁を訪問し、小林眞市長に対し、11月26日に千葉県銚子市で開かれる「鯖サミット」への参加と、八戸市へのサミット誘致を要望した。サミットは、2014年から毎年全国のサバの水揚げ地域などで開かれており、今年で4回目。サバ料理や加工品の展示販売のほか、各地域の取り組みをトーク形式で紹介するなど、毎年2万～3万人が訪れるイベントに成長している。小林会長が「首都圏でもサバが好きな人は多い。全国の産地と消費者をつないでいきたい」と述べ、市の積極的な参加を呼び掛けた。</p>

【産業】

記事	概要
(7)	<p>三八地域でスナップエンドウの生産増</p> <p>三八地域で、スナップエンドウの生産者が増えている。サクサクした食感が人気で需要が安定していることに加え、軽作業のため高齢者や女性でも取り組みやすい。収穫時期は5月中旬～7月下旬。他の作物よりも早い時期に収入が得られ、農業用機械やビニールハウスなどの初期投資が必要ないことも作付け拡大を後押ししている。同地域がエリアの八戸農協に出荷する生産者はこの3年ほどで急増しており、複合経営する際の選択肢の一つとして存在感を増している。</p>
(8)	<p>八戸沖で調査捕鯨始まる 8月中旬まで30頭前後目標</p> <p>八戸港を拠点とする国の調査捕鯨が18日、8月中旬までの予定で始まった。調査捕鯨は商業的な捕獲可能枠の算出や生態解明などが目的。調査の「副産物」として解体後の肉が全国に流通する。八戸沖では初めての調査捕鯨。1988年に日本が商業捕鯨を一時中断して以降、八戸港で鯨は水揚げされていない。調査初日の18日は沖が荒れた影響で捕獲できなかった。期間中、30頭前後の捕獲を目標とする。</p>
(9)	<p>みろく横丁で飲食アプリ運用開始 セットメニューを一定料金で</p> <p>ソフトウェア開発を手掛ける八戸市のサン・コンピュータは、加盟飲食店で1ドリンク1フードを基本としたセットメニューを750円からの一定料金で味わえる、スマートフォン向けお試し飲食アプリ「ぶらりん@タウン」の運用を、7月中旬から同市中心街の「八戸屋台村みろく横丁」で開始した。同アプリは観光客や市民が初めて訪れる店にも気軽に入店できるようにと、2015年3月に運用が始まり、市内ではこれまでに70店舗が加盟。今回、観光客の利用が多いみろく横丁内の26店舗のうち、15店舗が新たに加加盟した。</p>
(10)	<p>八戸のしみず食品 どんり焼き製造で国際認証取得</p> <p>八戸北インター工業団地に工場を構える菓子製造・販売の「しみず食品」（八戸市）は、主力事業のどんり焼き製造分野で、食品安全マネジメントの国際規格「FSSC22000」の認証を取得した。食品に対する安全安心の水準が高まる中、ニーズに合わせて品質管理の強化を図る。同社のどんり焼きは現在、商社や輸出業者を通じて香港や中国、米国、カナダなどでも販売。認証取得で海外展開の競争力が高まり、輸出拡大や新規開拓につながることを期待される。</p>

【地域】

記事	概要
(11)	<p>新井田小児童が花火大会向けに募金箱作製</p> <p>八戸市立新井田小の2、4、6年生約300人が6月28日、同校体育館で今年の第37回八戸花火大会の成功を願い、花火玉を使った募金箱作りに挑戦した。募金箱は毎年、八戸花火大会実行委員会が資金を集めようと、市内の小学校に作製を依頼。出来上がった募金箱は市内の公民館や店舗、事業所などに設置している。子どもたちは火薬の入っていない直径約25センチの花火玉に、ちぎった黒や青色の折り紙を貼った後、八戸の魅力を連想させるウミネコやイカなどの形に色紙を切り抜き、きらびやかにデコレーションした。今年の花火大会は、8月20日に館鼻岸壁で開かれる。市制施行88周年や三社大祭の無形文化遺産登録などを記念した花火を含め、約5千発を打ち上げる予定。</p>

(12)	<p>7月5日は「南郷の日」 農園や飲食店でイベントやサービス</p> <p>八戸市南郷地区の約20の施設や団体、飲食店は今年から、7月5日を語呂合わせで「南郷の日」とし、5～9日を「75week（なんごうウィーク）」と名付けてイベントやサービスを行った。南郷歴史民俗資料館は学芸員の解説付きの見学を行い、市民の森不習岳では、カブトムシの幼虫をプレゼントした。このほか、農園や飲食店、公共施設などでそれぞれの特色を生かした企画が用意された。関係者は「7月上旬は果物の収穫シーズンのはざまにあり、地区で一体になって何かできないかと考えた。来年以降も定着させていきたい」と力を込めていた。</p>
(13)	<p>八戸線に新車両投入 年度内に運転開始へ</p> <p>JR東日本は4日、八戸線（八戸－久慈間）に新車両18両を順次投入すると発表した。新たに導入するのは「キハE130系500代」という気動車（ディーゼルカー）。2両連結を6編成、1両単独を6編成の計18両を新造する。外装はステンレス製で、最高速度は時速100キロ。定員は1両編成が115人、2両編成が262人。冷暖房を完備しており、車体にはウミネコが羽ばたく姿をデザイン。試験走行を経て、本年度中に営業運転を開始する。</p>
(14)	<p>「はっち×南部菱刺し」イベント開催</p> <p>八戸市のはっちのプロジェクト・市民ボランティア集団「まちぐみ」は、8月からの毎月第3日曜日に、伝統工芸の南部菱刺しに親しんでもらうイベント「はっち×南部菱刺し」を開催する。はっち館内の椅子に、参加者がさまざまな図柄を刺して楽しめるユニークな試み。伝統文化に触れ、気軽に参加してもらう機会をつくらうと企画した。試行的に「0回目」が開かれ、通り掛かりの市民や観光客が飛び入りで参加。伝統的な図柄を含む約20種類からデザインを選び、色とりどりの刺しゅう糸を使って、丁寧に作業を進めていた。8月からのイベントは、午前11時～午後3時に行われる。</p>
(15)	<p>村次郎の詩世界体感 種差海岸でウォーキングイベント開催</p> <p>八戸市出身の詩人村次郎氏（1916～97年、本名・石田實）がこよなく愛した種差海岸を散策するウォーキングイベント「岸辺倶楽部」が7月1日に行われ、参加者約30人が、村氏の作品の原風景ともなった豊かな自然に触れつつ、詩世界に思いをはせた。同市の有志でつくる「村次郎の会」が主催。村氏の詩魂に根差した種差の風景を歩き、作品世界を味わいながら、郷土の自然保護について考えようと2010年以来7年ぶりに開催した。</p>
(16)	<p>JAMSTECが出前授業 「ちきゅう」に興味津々</p> <p>八戸市教委は14日、市内の小中学校で国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）による出前授業を開いた。9月17、18日、JAMSTECの地球深部探査船「ちきゅう」が、八戸港に寄港することを記念して実施。講師を務めたJAMSTECの木戸ゆかりさんが、資源豊かな八戸の海や海洋科学の魅力を子どもたちに伝えた。市立小中野小では、5年生63人が、ちきゅうの構造や役割、八戸沖の生物や資源について学んだ。</p>
(17)	<p>光星学院がフィリピンの語学学校と協定へ</p> <p>国際的視野を持った人材の育成を目指し、八戸市の学校法人光星学院は19日、フィリピンの語学学校「CNE1」と年内に包括協定を結ぶ方針を明らかにした。CNE1は、フィピン北西部にあるマンツーマン指導型の語学学校。現地の治安が良く親日的なことや、2週間で約11万円（宿泊費・食事代込み）と留学費用が割安なことなどを理由に選定した。来年度から短期留学しやすい環境を整えるほか、高校と大学の単位連携も可能となる見通しである。</p>

(18)	<p>陸奥湊駅 毎年恒例の「イカ風鈴」お目見え</p> <p>八戸市湊町のJR陸奥湊駅に21日、毎年恒例の「イカ風鈴」がお目見えし、涼やかな音色で、利用者に本格的な夏の訪れを告げている。南部鉄製の風鈴54個に取り付けられているのは、ニスを塗った本物のすもめと、「元気なイサバのかっちゃんごっちゃん」など歓迎のメッセージを記した短冊。市場で有名な陸奥湊の名物として利用客をもてなそうと始まり、今年で12年目となる。8月21日まで。</p>
(19)	<p>工大二高 成田光さん 難関の英検準1級に合格</p> <p>八戸工業大第二高3年の成田光さんが、実用英語技能検定試験（英検）準1級に合格した。合格率約16%（2016年実績）の難関で、同校では28年ぶりの快挙。成田さんは昨年英検2級に合格。受験勉強にもなると考え今年6月、準1級試験に初挑戦し、見事クリアした。勉強のかいあって正答率は8割。英作文は満点だった。今後挑戦する後輩たちに向け「英単語を多く覚え、演習をたくさんこなして」とエールを送った。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(20)	<p>八戸学院大に女子ラグビー部創設 東北の大学で初</p> <p>八戸学院大に2017年度新たに女子ラグビー部「レッドシャークス」が誕生した。6月に八戸市庁を訪れ、小林眞市長に創部を報告。メンバーは「たくさんの人に応援されるチームになりたい」と抱負を語った。女子ラグビー部の創設は東北の大学で初めて。新1年生5人が入部し、本格始動した。まだ単独チームでの活動はできないが、青森県代表として国体選手に選出されることを現在の目標とし、日々の練習に励んでいる。</p>
(21)	<p>三八五交通 ヴァンラーレのラッピングタクシー制作</p> <p>八戸市の三八五交通は日本フットボールリーグ（JFL）に所属するヴァンラーレ八戸をデザインしたタクシー2台を制作し、7日に多賀ダイハツスタジアムでチーム関係者にお披露目した。柱谷哲二監督と主将の須藤貴郁選手も出席し、前日完成したばかりの特別タクシーの運行開始を祝った。1台はヴァンラーレ八戸のキャラクター「ヴァン太くん」を、もう1台には須藤選手をデザインしている。タクシーは市内を中心に運行。ホームゲームが行われる日は、ダイハツスタジアムに展示する。</p>
(22)	<p>南郷サマージャズフェスティバル開催 ～軽快な音色にスイング～</p> <p>東北最大級の野外ジャズイベント「第28回南郷サマージャズフェスティバル2017」が7月29日、八戸市南郷のカッコーの森エコーランドで開かれた。日本を代表するサクソ奏者の渡辺貞夫さんらプロ4組と、アマチュア4組の計8組が熱演。この日は地元のスウィングベリージャズオーケストラ、市立西園小、中沢中、デビッド・マッシュズwith八戸ジャズ楽団のアマチュア4バンドによる演奏とセッションで幕開け。目玉となった「渡辺貞夫Group2017」はライトアップされたステージで上品な音色を響かせ、全国各地から集まった約2300人が軽快な音色に聞き入った。</p>

種差海岸
三陸復興
国立公園
指定記念
チケット

たね知ケ

Tanesashi Ticket

ご利用期間

7月1日～9月30日まで

ひと旅ふた旅、めぐる旅。
青森⇌函館
AOMORI HAKODATE

多様な植生と美しい景観を誇る、三陸復興国立公園「種差海岸」。
博物館などで使える「たね知ケ」を持って、種差海岸を育んだ八戸を知る旅に出かけよう!

各施設無料で利用可能!!
1グループ5名様まで
※水産科学館マリエントは半額

●お問い合わせ先 八戸市観光課 TEL.0178-46-4040

1. 八戸市博物館

Hachinohe City Museum



住所／八戸市大字根城字東構35-1
TEL／0178-44-8111
開館／9:00～17:00(入館16:30まで)
休館／月曜日(第1月曜日及び祝日を除く)
祝日の翌日(土日を除く)、年末年始
※7/31、8/14は臨時開館 9/23は臨時休館
バス／「根城(博物館前)」下車

考古・歴史・民俗・無形資料の4つの展示室をめぐることで、八戸の歴史を学習できます。
無形資料展示室では、八戸の方言や昔話等にふれることができます。

特別展 「キレモノー八戸市博物館所蔵刀剣資料展」7/8(土)～8/27(日)
ミニパネル展 「八戸の災害」9/1(金)～9/30(土)

2. 史跡根城の広場

The Historic Nejo Site



住所／八戸市大字根城字根城47
TEL／0178-41-1726
開場／9:00～17:00(入場16:30まで)
休場／月曜日(第1月曜日及び祝日を除く)
祝日の翌日(土日を除く)、年末年始
※7/31、8/14は臨時開場 9/23は臨時休館
バス／「根城(博物館前)」下車

安土桃山時代の根城の様子を復原した広場です。日本百名城に選定されています。ボランティアガイドによる無料案内があります。(所要時間／1時間)

3. 南郷歴史民俗資料館

Museum of Nango History and Folklore



住所／八戸市南郷大字島守字小山田7-1
TEL／0178-83-2443
開館／9:00～17:00(入館16:30まで)
休館／月曜日(第1月曜日及び祝日を除く)
祝日の翌日(土日を除く)、年末年始
※7/31、8/14は臨時開館

日米親善のために贈られた青い目の人形・メリーちゃんの展示のほか、昭和の町並みが再現されたコーナーもあり、昭和の生活の変遷を感じることができます。

特別展 「しあわせのリカちゃん展」7/15(土)～9/3(日)

種差海岸とは...

ウミネコの繁殖地・燕島や、砂浜、芝生地など変化に富んだ景観を有し、650種を超える多彩な草花が生育する、風光明媚な海岸です。
その美しさは、多くの文人や画家にも愛されています。



4. 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

Korekawa Archaeological Institution



住所／八戸市大字是川字横山1
TEL／0178-38-9511
開館／9:00～17:00(入館16:30まで)
休館／月曜日(第1月曜日及び祝日を除く)
祝日の翌日(土日を除く)、年末年始
バス／「是川縄文館」下車

是川遺跡や風張遺跡など、八戸の優れた縄文文化を発信する施設で、国宝・合掌土偶が展示されています。映画「ライアの祈り」のロケ地です。

特別展 「発掘された日本列島2017」8/5(土)～9/18(月)

5. 八戸市水産科学館マリエント

Hachinohe City Marine Science Museum (Marient)



住所／八戸市大字鮫町字下松苗場14-33
TEL／0178-33-7800
開館／9:00～18:00(9月から9:00～17:00)
休館／年中無休(臨時休館日9/11～13)
バス／種差海岸遊覧バスうみねこ号「水産科学館前」下車
鉄道／「鮫駅」から徒歩16分

近海の魚やアオウミガメが泳ぐ水槽、ウミネコやイカに関する展示など、八戸の海について遊びながら学べる観光文化施設です。

特別展 「夏だ! にっぽん金魚展」7/8(土)～8/27(日)
「刻の雫 マツリのアトニ ～三浦福壽仕事展～」7/8(土)～8/27(日)

ご利用方法 ①チケットを切り取ります ②チケットの裏に、お住まい(都道府県・市町村名)と人数を記入します ③各施設の受付に渡します

たね知ケ

1. 八戸市博物館
入館料無料券

平成29年
7月1日～9月30日まで
※1グループ5名様まで

たね知ケ

2. 史跡根城の広場
入館料無料券

平成29年
7月1日～9月30日まで
※1グループ5名様まで

たね知ケ

3. 南郷歴史民俗資料館
入館料無料券

平成29年
7月1日～9月30日まで
※1グループ5名様まで

たね知ケ

4. 是川縄文館
入館料無料券

平成29年
7月1日～9月30日まで
※1グループ5名様まで

たね知ケ

5. 水産科学館マリエント
入館料半額券

平成29年
7月1日～9月30日まで
※1グループ5名様まで

たね知ケ

Tanesashi Ticket

八戸観光MAP



八戸えんじょいカード

八戸市内のJRやバスが一日乗り放題!さらに、観光・宿泊施設や飲食店等での優待サービス付!

大人 (中学生以上) **700円** 子ども (小学生) **350円**

利用方法

- ①JR東日本の主なみどりの窓口・びゅうプラザで購入(利用日1ヶ月前より購入可)
- ②八戸市内みどりの窓口(八戸駅・本八戸駅 陸奥湊駅・鮫駅)にてガイドマップを受け取る

問合せ先 八戸カード運営協議会(0178-46-4040)

種差朝ヨガ

種差天然芝生地で行う「朝ヨガ」。早朝のさわやかな海風と波音につつまれながら、リフレッシュしてみませんか。

開催日 5/27~9/30までの毎週土曜日

開催時間 7:00~8:00 (6:30より芝生地入口付近にて受付)

料金 一人500円
ヨガマットレンタル100円(先着30名)

その他 予約不要 雨天時は南浜公民館にて開催

問合せ先 種差あねっこ(民宿石橋) (0178-38-2221)

種差海岸乗馬体験

種差天然芝生地が広がる美しい景色の中、馬に乗ってゆったり散策してみませんか。

開催日 7/8、7/22、8/5、8/19、9/2、9/16(各土曜日)

開催時間 12:30~15:00 (7/22、8/5、8/19は15:30まで)

開催場所 種差天然芝生地

料金 大人700円、子ども500円

その他 予約不要 小雨決行

問合せ先 種差観光協会(0178-38-2024)

種差海岸らくらくサイクル

GPS機能を使った音声ナビゲーション「ナビチャリ」搭載の電動アシスト自転車をレンタルできます。(全10台)

貸出場所 八戸シーガルビューホテル (八戸市鮫町小舟渡平9-19) 電話:0178-33-3636 ※前日までに要予約
種差観光協会(八戸市鮫町棚久保14-117) 電話:0178-38-2024
早狩輪店(八戸市鮫町二子石6-1) 電話:0178-33-1062 ※5.9.10月のみ
タカヤ靴店(八戸市鮫町持越沢6-2) 電話:0178-33-7140 ※6.7.8月のみ

料金 3時間まで1,000円/終日1,500円/乗り捨て500円

お住まい	お住まい	お住まい	お住まい	お住まい
一般 名	一般 名	一般 名	一般 名	一般 名
高校生 名	高校生 名	高校生 名	高校生 名	高校生 名
中学生・小学生 名	中学生・小学生 名	中学生・小学生 名	中学生・小学生 名	中学生・小学生 名

※大学生は一般に含む。